



企画公募 応募概要

アーツカウンシル東京
(公益財団法人東京都歴史文化財団)

東京都及びアーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)では、2020年に向けて、芸術文化を社会の基盤とする大きなうねりを作り、将来に引き継いでいくために、「東京文化プログラム」(※1)を展開していますが、この度、2019年秋から2020年9月までの間に実施する東京文化プログラムの企画アイデアの公募を実施します。

斬新で独創的な企画や、より多くの人々が参加できる企画を幅広く募り、2020年4月から展開していく「Tokyo Tokyo FESTIVAL」(※2)の中核を担う事業の創出を図るとともに、人々の記憶に残る東京文化プログラムを創り上げ、2020年を超えて、東京がよりクリエイティブな文化都市へとステップアップしていくことを目指します。

世界から注目を集める、またとない機会を活かして、創造力とチャレンジ精神にあふれた企画アイデアを是非ともお寄せください。

※1「東京文化プログラム」

東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団及び公益財団法人東京都交響楽団が、2020年に向けて実施・支援する様々な文化事業をさします。

※2「Tokyo Tokyo FESTIVAL」

国内外からの注目が最も集まる、2020年4月から半年間に実施する「東京文化プログラム」のネーミング

Tokyo Tokyo FESTIVAL 企画公募

応募概要

企画対象期間：平成 31 年秋から平成 32 年 9 月の間に実施・終了する企画

応募書類受付期間：平成 30 年 2 月 1 日～2 月 28 日

採択決定時期：平成 30 年 7 月頃(予定)

以下のような企画を公募し、東京都およびアーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)の委託事業として実施していきます。

1. 募集企画内容

(1)対象となる分野

音楽・演劇・舞踊・美術・写真・文学・メディア芸術(映像、マンガ、アニメ、ゲームなど)・伝統芸能・芸能・生活文化(茶道、華道、書道、食文化など)・ファッション・建築・特定のジャンルにとられない芸術活動(複合)等を想定しています。

(2)期待する企画内容

以下の目的をもった企画を募集します。

■インパクトある芸術創造

芸術文化都市東京を世界にアピールできるクオリティがあり、21 世紀の芸術文化を牽引する挑戦を感じる。また、芸術性・話題性があり、国内外への発信力がある。

■あらゆる人々が参加できる

世代、国籍、障害などをこえ、だれでも参加できる。また参加の仕方やプログラムに工夫があり、参加者にとっても記憶に残る体験を提供できる。

■アートの可能性を拓ける

社会課題に向き合うことで、アートの新しい可能性を拓けることにチャレンジしている。また、アートの視点を活かしたユニークな社会に対する問題(課題)提起力・発見がある。

(3)事業規模

委託事業費の限度額は、数百万円から 2 億円を超えない範囲となりますが、協賛金や自己資金など他の収入を含めた事業規模についてはこの限りではありません。

(4)実施場所

東京都内

- * 実施場所も含めた企画アイデアを募集します。
- * 実施したい場所を具体的に明記した企画以外にも、「◎◎◎㎡以上の屋外スペース」、「収容人数◎◎人以上の屋内会場」など具体的な場所を明示しない企画でも構いません。
- * 第一次選考通過後、使用可能場所、使用可能時期、使用方法、代替案など、実現可能性の検討を行う中で、事務局と共に実施場所についての調整を行います。(都有施設(庁舎、公園、ホール等)を実施場所として活用する企画の場合も同様です。)

(5)対象期間

平成 31 年秋から平成 32 年 9 月までの間に実施・終了する企画

■対象とならない活動

- ・宗教的又は政治的な宣伝・主張を目的とするもの
- ・展示物、制作物等の販売活動を主な目的とするもの

2. 公募選定の基本方針

選定にあたっては、実現性の他、革新性・独創性といった新しいチャレンジ、東京都の文化プログラムの考え方に沿っている点、2020 年以降にむけて東京都が求めるレガシーの創出に、いかに繋がるかといった視点で選考を行います。単なるイベントにとどまらず、2020 年以降の芸術文化における東京の創造環境の向上に繋がることを期待します。具体的には以下の視点を考慮します。

<選定における評価のポイント>

(1)2020 年以降、東京都が求めるレガシーの創出に繋がること

- ◎求めるレガシー
 - ・都民が芸術文化に触れる機会の拡大
 - ・地域経済や観光の活性化
 - ・世界から「芸術文化都市東京」として評価
 - ・人材や芸術文化団体等の成長
 - ・芸術文化の力が社会課題の解決に貢献

(2)東京都が主導する文化プログラムの考え方を踏まえていること

- ◎都が主導する文化プログラムの考え方
 - オリンピックの精神に基づき、史上最高の文化プログラムを展開するとともに、文化の面のレガシーを 2020 年以降に継承し、世界一の文化都市東京の実現につなげていく
 - ・伝統と現代の共存をはじめとした独自性・多様性を持つ東京の文化を世界に発信するとともに、国際的な芸術文化交流を積極的に展開
 - ・障害者、高齢者、子供、外国人等、国内外のあらゆる人々が参加・交流できる機会の創出
 - ・新たな発想を取り入れた芸術文化活動の推進や次世代を担う人材の育成
 - ・都市全体で文化的な祝祭感を創出
 - ・国、他の自治体、芸術文化団体等との連携・協力によるオール・ジャパンでの気運醸成

- (3) 革新性・独創性があり、2020 年以降に向けた新しい挑戦になっていること
- (4) 2020 年(または 2019 年)に実施できること
- (5) 都内で実施・公開されること
- (6) 実現できる企画だと判断できること
- (7) 達成目標(自己評価の視点)が提案されていること

3. 応募について

個人、グループ、団体・法人(NPO、実行委員会、企業等)の方々、基本的にどなたでもご応募いただけます。

- * 国、地方公共団体又は外国政府は応募者にはなれません。ただし、実行委員会の構成団体にはなれます。
- * 国、地方公共団体又は外国政府が基本金その他これに準じるものを出資している団体は応募者にはなれません。ただし、実行委員会の構成団体にはなれます。
- * なお、次に掲げる法人その他の団体は、当公募事業の対象となりません。
 - ① 暴力団(東京都暴力団排除条例(平成23年東京都条例第54号。以下「暴排条例」という。)第2条第2号に規定する暴力団をいう。)
 - ② 法人その他の団体の代表者、役員又は使用人その他の従業者若しくは構成員に暴力団員等(暴排条例第2条第3号に規定する暴力団員及び同条第4号に規定する暴力団関係者をいう。)に該当する者があるもの。

4. 実施体制について

採択された企画は、東京都及びアーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)の主催事業として、提案者側を受託者として制作等を委託します。

なお、企画は個人からの応募も受け付けますが、事業実施・契約にあたっては、法人格を取得していただくか、実行委員会を設立していただきます。法人格の取得又は実行委員会の設立がないまま第一次選考を通過した場合は、事務局等もサポートしながら運営体制を整備していきます。

5. その他留意事項

事業実施については、東京都の平成 30 年度予算が東京都議会で可決され、かつ公益財団法人東京都歴史文化財団の平成 30 年度予算が財団理事会で可決され、同評議員会が承認した上で確定することから、委託事業の規模・会場等の変更が生じる可能性があることをご了承願います。

6. 企画アイデア(第一次選考用)応募書類

応募書類は Tokyo Tokyo FESTIVAL 企画公募ウェブサイトからダウンロードしてください。

<http://www.ttf-koubo.jp/>

1. Format 1: アイデア企画

- 企画タイトル
- 応募企画の概要
 - ①活動の趣旨・目的 (200 字以内)
 - ②想定する主なアーティスト・出演者(名前や代表的な経歴など)
 - ③想定する協力団体・企業など
 - ④想定する実施場所・会場
 - ⑤想定する実施時期・期間
 - ⑥想定する運営体制(実行委員会がある、制作会社がある。ない場合はなしとする)
 - ⑦想定する総予算額と主な内訳(収入を予定している場合は、その概算額も)
- 発表形態(展示・公演等)
- 企画アイデア概要(1,200 字以内)
- 2020 年に向けた文化プログラムとして、留意した点(200 字以内)
- 参考データの URL(音楽・映像)
 - ※Youtube にアップロードしてください。(3 分以内、限定公開)
- この企画で達成したいこと(200 字以内)
- 一番重視したものについて

2. Format 2: 応募者・団体プロフィール(団体と個人で記載欄が別)

3. Format 3: 企画をイメージできる資料

※イメージ図、類似事例、写真コラージュ等、紙媒体(A4 用紙 3 枚まで)であること

*** 上記に掲げる応募書類は、提出締切日までに必ず全て揃えて提出してください。**

* 審査の段階で補足資料等の提出を求めることがありますが、その際にご協力ください。

* 提出された書類及び資料は返却いたしませんので、必ず控えを取ってください。

■参考

第一次選考通過の場合、事務局のアドバイスのもと、第二次選考に向けて以下の内容で実施企画書をブラッシュアップしていただく予定です。

① 実施企画書

- | | | | |
|------------|----------|-------------|---------------|
| ●タイトル | ●目的 | ●企画概要 | ●主なアーティスト・出演者 |
| ●実施場所・会場 | ●実施時期・期間 | ●運営体制・広報プラン | ●協力団体・企業 |
| ●その他イメージ図等 | | | |

② 事業費概算(収入・支出見込)

7. 応募書類の提出締切

【郵送の場合】平成30年2月28日(水)消印有効

- * 書留や宅配便等、発送が記録できる方法で送付のこと。
- * 事務局への持込みは不可。

【WEB応募の場合】平成30年2月28日(水)23:59まで

- * Tokyo Tokyo FESTIVAL 企画公募ウェブサイトへアップロードしてください。
<http://ttf-koubo.jp/>

8. 審査のプロセス

企画の選定にあたっては、外部有識者等による審査会を設け、審査会での審議を経て、決定します。

- ①提出された応募書類及び添付資料を、アーツカウンシル東京が事前書類審査を実施。
- ②事前書類審査を経た案件について、第一次選考において審査会委員による書類審査を実施。
- ③第一次選考を通過した案件について、事務局とともにより詳細な実施可能性を検討し、第二次選考に向けて実施企画書のブラッシュアップを行っていただきます。
- ④その後、第二次選考において、プレゼンテーション及びヒアリングを行い、審議を経て、採択を決定します。なお、委託額等契約に関する詳細は、採択決定後に定めます。

9. 採択決定について(採否決定の通知)

平成30年5月頃に第一次選考結果を、7月頃に第二次選考結果を、採否にかかわらず文書にて通知を行う予定です。また採択された企画につきましては、企画書等を含め、東京都及びアーツカウンシル東京のウェブサイト等で公表させていただくことがあります。

- * 応募件数や審査の進捗状況によっては通知時期が遅れることもありますので、予めご了承ください。
- * 採否の理由はお知らせしません。

10. 活動に関する情報の公開

採択された案件については、制作受託者の名称、問い合わせ先、活動概要等の情報を東京都及びアーツカウンシル東京ウェブサイト等の広報資料で公表されます。

また、企画の制作過程を東京文化プログラムの広報を目的として記録します。

11. 個人情報の取扱い

応募書類に記載された個人情報は、公益財団法人東京都歴史文化財団の個人情報の保護に関する規定に則り、適正に管理いたします。ただし、審査や事後評価等のため外部有識者や東京都に提供することがあります。

12. 応募書類提出先・お問合せ

Tokyo Tokyo FESTIVAL 企画公募事務局

〒102-0073

東京都千代田区九段北 4-1-28 九段ファーストプレイス 8F

「アーツカウンシル東京」内

Tel: 03-6256-9921 Fax: 03-6256-8828 E-mail: info@ttf-koubo.jp

<http://ttf-koubo.jp/>

13. 企画公募 採択決定までのスケジュール(予定)

